

みんなの文芸

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。1人1句、1首に限ります。

6日必着

短歌 (投稿順)

軒下にずらりと並ぶ菊の鉢みごとに咲くを見せてもらいぬ
 初物の「仕留めた」と言う鹿岳に北の大地のロマン漂う
 獣よけ柵めぐらす畑の畔乱れ足跡鹿多きこと
 支え合い夫婦の絆六十年悲喜こもごもの感慨深し
 頂で食べるうどんの温かさはや雲取に雪が積る
 ともすればぼうとし日々が行き過ぎるされど行こうぞ夢のその先
 着心地の良き服なりて捨て難く色も褪せれど又袖通す
 嫁ぐには貴重でしたよこの着物今は箆筒の肥となりぬ
 幼な日の兜太のチョッキは屑繭で編まれし展示の壺春堂訪ぬ
 紅葉の疎らに残る鳥々のごと山並は雲海に浮く
 三十三夜寺の門前に立つ仁王様歴史重ねし姿に感動
 テレビでのニュース見てれば一人居が増えて四割老後は淋し
 久に友ランチに誘ふはずの吾「今朝 主人が」にもらひ泣きする
 世の中は合縁奇縁なる慣習懐古の多し年となる故
 楽しきは茶道の授業お点前の茶筌軽やか和敬清寂

三沢 眞下 杏子
 皆野 萩原 初恵
 国神 藤原マキ子
 下田野 新井 節子
 皆野 大澤 貴夫
 皆野 石原 達也
 下田野 浅見 豊子
 三沢 新井 叶子
 三沢 新井 民子
 皆野 打木 昭廣
 皆野 村田ハツ代
 上田野 沢 四方田利男
 皆野 引間 万亀
 皆野 根岸 詩子
 皆野 太幡琉美花

俳句 榎本順江 選 投稿数 15 句

山茶花やこの道が好きただ歩く
 (評)好きな道、どんな道か想像が膨らみます。四季折々足もとの草花や木々の花に癒される道。気分により昨日の道とは違う雰囲気になる道。今や山茶花が咲き歩く楽しさを誘います。好きな道を探したくなる秀句です。二句目、兜太さんが亡くなり七回忌も過ぎましたが、いまだ多くの研究者やファンの記事が新聞や雑誌に掲載されています。日本はもとより海外にも名前や作品は知られています。巨匠と言えど気さくな人柄は、映像にも変わりなく映っていることでしょう。石路の花が美しく咲く中で兜太さんをしのび、感慨深い作者です。三句目、今日のごちそうは豚汁。柚子の香りは何に添えても抜群。豚汁も柚子の香りには負けましたが、味は最高。湯気の向こうにおいしさの団らんが見えます。ごちそうさまでした。

映像の兜太は永久に石路の花
 三沢 新井 民子
 朝霧に覆われ墨絵の町となり
 皆野 村田ハツ代
 豚汁に添えた柚子こそ主役かな
 皆野 太幡琉美花
 機音の絶えし秩父の空つ風
 三沢 新井 叶子
 新しき革靴きつし今朝の冬
 皆野 島 弘
 峡守る武甲大いなる初御空
 皆野 根岸 詩子
 初冬の月仰ぎつつ夕チャイム
 三沢 眞下 杏子
 十二月地蔵の帽子新たにす
 国神 藤原マキ子
 蒼天に阻む物なし吊るし柿
 下田野 新井 節子
 迎春や恙無き日々を願いたり
 皆野 石原 達也

「広報みなの」有料広告募集

毎月4,000部発行され、各世帯に配付されます。ぜひ会社やお店などの宣伝にご活用ください。

掲載枠・広告料

掲載適当とするページの最下段

1号(縦50mm×90mm) 5,000円

2号(縦50mm×180mm) 10,000円

申込み 企画財政課(11番窓口) ☎26-7334